

閉山時の建物の配置図

現在も約半数の建物が残っています。

■職員住宅 ■鉱員住宅 ■探炭関連施設 ■その他建物

— 見学施設(見学広場・見学通路)
※この区域以外に立ち入ることはできません。

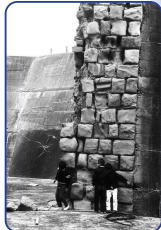


レンガ造りの第3 堅坑構座跡(資材倉庫)に隣接する総合事務所の中には、炭鉱マンのための大きな共同浴場があり、綺麗な浴槽に入る前に荒洗いを行っていた浴槽はいつも真っ黒だったそうです。この周辺には多くの建物がありましたが、現在ではそのほとんどが崩壊しています。

総合事務所

天川の護岸

明治期、島の拡張に伴う護岸づくりは、石灰と赤土を混ぜた天川(あまかわ)と呼ばれる接着剤を用いた石積み工法により盛んに行われました。この擁壁は現在でも島内の至る所に残っており、端島独特の景観を生み出しています。



ライフライン

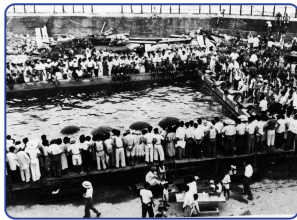
電気や水道の確保は、端島では切実な問題でした。電気は当初、島の自家発電で供給されていたのですが、人口の増加などに伴い電力不足となったため、1918(大正7)年に高島から海底ケーブルが敷かれ、送電されるようになりました。



▲県下の電化製品普及率を誇った端島の家庭(昭和30年代)

また、飲料水も当初は海水を蒸留していましたが、のちに給水船で運ばれるようになり、高台にある貯水櫃に蓄えられ、数か所の共同水柱から配給されるようになりました。風呂の水は海水を沸かしたもので、上がり湯だけに真水を利用できませんでした。1957(昭和32)年には対岸の三和町から6,500メートルもの海底送水管が敷かれ、送水されるようになりました。これにより、端島での給水制限はなくなりましたが、高級職員用のアパートであった3号棟以外のアパートには室内風呂は設置されず、公衆浴場が利用されていました。

昭和30年代からプロパンガスが利用されましたが、それまではかまどを使っていたため、アパートには煙突がありました。



南部プール落成水泳大会の様子。(昭和33年7月)南部プールが完成するまでは旧木造校舎の東端部分にありましたが、台風で大破したため移転建設されました。25メートルプールと幼児用プールが併設されましたが、海水を使っていました。65号棟屋上の幼稚園にもプールがありました。

プール



30号棟・31号棟アパート



1916(大正5)年に建てられた30号アパートは、日本最古の7階建て鉄筋コンクリート造の高層アパートといわれています。鉱員住宅として建設され、内庭には吹き抜けの廊下と階段があり、地下には売店もありました。31号棟鉱員住宅には、地階に一般用の共同浴場があり、1階には郵便局や理髪店も設置されていました。



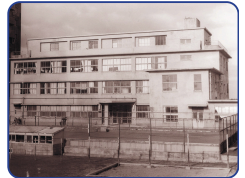
貯炭ベルトコンベアー



精炭(精選された石炭)は、このベルトコンベアーによって貯炭場に蓄えられ、石炭運搬船に積み込まれました。今はその支柱が残るのみです。



端島病院・隔離病棟



1958(昭和33)年完成。命がけて採炭に励む鉱員やその家族の健康を守ってくれる病院の存在は、端島に住む人々にとって、さぞ心強かったことでしょう。



第二堅坑入坑機橋跡

主力坑だった第二堅坑をきめ、鉱山施設は、現在ほとんど崩壊していますが、かるうして第二堅坑へ行くために設けられた機橋への昇降階段部分が残っています。



端島神社

危険と隣り合わせの鉱員たちにとって、神社は心の拠り所であり、毎年4月3日の山神祭は全島を挙げて盛大に行われました。神輿の下に拝殿もありましたが、倒壊してしまい、現在は祠のみが残っています。



端島小中学校

1893(明治26)年、三菱立の尋常小学校が岩礁の上に設立されましたが、1921(大正10)年に村立となりました。1958(昭和33)年に建設された現存の建物は7階建てで、1階から4階までが小学校、5階と7階が中学校、6階には講堂、図書館、音楽室、7階には理科室などの特別教室が設けられていました。1970(昭和45)年には体育館や給食設備なども新設され、給食を運ぶ唯一のエレベーターもありました。



建物一覧表

建物名	建設年代	構造・階数	9/10/6	種別	用途
1号	1936(昭和11)年	木造1階	—	神社	
2号	1950(昭和25)年	R C造3階	9	職員住宅	
3号	1959(昭和34)年	R C造4階	20	職員住宅(幹部用・風呂付)	
5号	1950(昭和25)年	木造2階	1	鉱長住宅	
6号	1936(昭和11)年	木造2階	—	職員單身寮	
7号	1953(昭和28)年	木造2階	—	職員クラブハウス	
8号	1919(大正8)年	R C・木造3階	4	共同浴場(1階)・職員住宅	
12号	1925(大正14)年以前	木造3階	3	職員住宅	
13号	1967(昭和42)年	R C造4階	12	町営住宅(教職員用)	
14号	1941(昭和16)年	R C造5階	15	職員住宅(中央住宅)	
16号	1918(大正7)年	R C造3階	66	鉱員住宅	
17号	1918(大正7)年	R C造9階	54	鉱員住宅	
18号	1918(大正7)年	R C造9階	50	鉱員住宅	(白給社宅)
19号	1922(大正11)年	R C造9階	45	鉱員住宅	
20号	1922(大正11)年	R C造7階	26	鉱員住宅	
21号	1954(昭和29)年	R C造5階	15	警察派出所(1階)・鉱員住宅	
22号	1953(昭和28)年	R C造5階	12	老人クラブ(1階)・浴場(2階)・町営住宅(3階)	
23号	1921(大正10)年	木造2階	6	社宅(1階)・寺院(2階)・職員住宅	
25号	1931(昭和6)年	R C造5階	6	浴場(1-2階)・職員住宅	
26号	1966(昭和41)年	プレハブ2階	8	下宿従業員住宅	
30号	1916(大正5)年	R C造7階	140	旧鉱員住宅(下宿住宅)	
31号	1957(昭和32)年	R C造5階	51	地下共同浴場・郵便局(1階)・職員住宅	
33号	1954(昭和29)年	R C造3階	20	公衆浴場	
48号	1955(昭和30)年	R C造5階	20	職員住宅(地階/チンコ店等)	
50号	1927(昭和2)年	鉄骨2階	—	炭運船(昭和期)	
51号	1951(昭和26)年	R C造8階	40	鉱員住宅	
56号	1939(昭和14)年	R C造3階	6	職員住宅	
57号	1939(昭和14)年	R C造4階	8	商店(1階)・職員住宅	
59号	1953(昭和28)年	R C造5階	17	地下購買会・鉱員住宅	
60号	1953(昭和28)年	R C造5階	17	地下購買会・鉱員住宅	
61号	1953(昭和28)年	R C造5階	17	共同浴場(地階)・職員住宅	
65号(旧)	1945(昭和20)年	R C造9階	—	鉱員住宅	
65号(新)	1949(昭和24)年	R C造10階	317	鉱員住宅・端島保育園	
65号(別)	1958(昭和33)年	R C造10階	—	鉱員住宅	
65号(別)	1940(昭和15)年	R C造4階	—	鉱員合宿(朝明寮)	
67号	1950(昭和25)年	R C造3階	48	職員住宅(單身寮)	
68号	1958(昭和33)年	R C造2階	—	隔離病棟	
69号	1958(昭和33)年	R C造4階	—	端島病院	
70号	1958(昭和33)年	R C造7階	—	端島小中学校	
71号	1970(昭和45)年	R C造2階	—	体育館	

※RC造：鉄筋コンクリート造